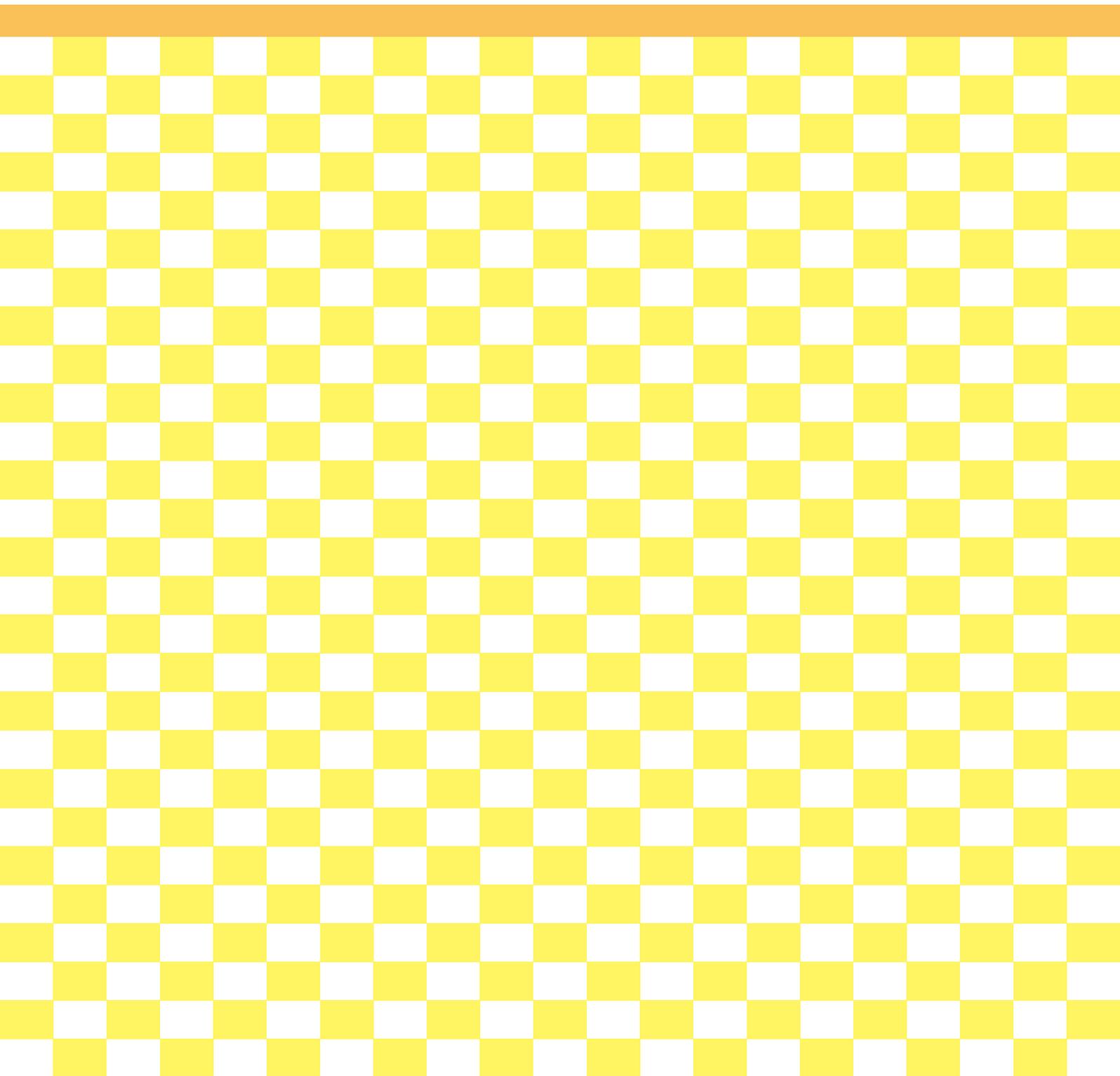


第3期 右京区地域福祉活動計画

2013(平成25)年度～2017(平成29)年度

誰もが「ひとりの人間」として尊重され、安心して暮らせるまちづくり



第3期 右京区地域福祉活動計画

～ 目 次 ～

第1章	活動計画策定にあたって……………	2
第2章	第2期活動計画をふまえて……………	3
第3章	第3期活動計画……………	4
第4章	活動実践コラム……………	12
第5章	関連資料……………	16

第1章

活動計画策定にあたって

協働が地域福祉活動を発展させ、地域福祉活動が協働を育む

地域福祉活動計画とは

京都市右京区社会福祉協議会（区社協）は、昭和27年4月に発足、平成3年9月に社会福祉法人として認可を受け、本年で区社協設置60周年の節目の年にあたります。この間、住民主体の地域福祉の推進を目指す民間団体として、22の学区社会福祉協議会（学区社協）を中心に関係機関・施設・団体、行政機関とが一つとなり地域福祉の推進に取り組んできました。その地域福祉推進の中核として、平成15年9月に策定された第1期右京区地域福祉活動計画（平成15年度～平成19年度）では、「誰もが「ひとりの人間」として尊重され、安心して暮らせるまちづくり」を基本

理念に掲げ、社協活動における具体的取組を提起しました。第2期活動計画（平成20年度～平成24年度）では、学区社協ならびに対象分野ごとの関係機関・施設等によるヒアリング調査から課題の抽出と具体的取組を時系列的に提示しました。この第3期活動計画では、平成25年度から平成29年度までの5年間にかけて、市域・区域・学区の三層の社協連携と関係機関・団体や施設・行政等との連携により、社会的孤立、生活困窮者、権利擁護などの課題解決のために具体的に何をしなければいけないかを示した活動計画となっています。

第1期



第2期



社協行動指針とのつながり

京都市社協では、平成23年8月に「人に優しく、災害に強い、信頼の絆で結ばれた福祉のコミュニティづくりを進めます」を基本目標に掲げた「京都市における社協行動指針」が策定され、市域・区域・学区の三層の社協が力を合わせて地域福祉活動をすすめていくことが示されています。本活動計画においてもそれらを加味した内容として位置付けています。

参考：京都市における社協行動指針
<http://www.syakyo-kyoto.net/koudoushishin.html>

区基本計画とのつながり

活動計画の取組みの具体化には、行政と地域の生活課題の共有化を図り、地域住民の主体的な動きを後押ししていく働きが求められています。本活動計画では、区基本計画（右京かがやきプラン＜2011（平成23）年度～2020（平成32）年度＞）と連動させ、地域福祉のネットワークを活用した課題解決に向けた取組みをすすめていきます。

参考：区基本計画（右京かがやきプラン）
<http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/page/0000096760.html>

第2章

第2期活動計画をふまえて

第2期活動計画から第3期活動計画まで

第2期活動計画の振り返り

第2期活動計画では、地域が主体となって地域課題を明らかにし、何を目的に活動すべきかのサイクル「学区社協重点活動プラン」に着手することができました。しかし、その他の内容については、評価基準が不明確だったことが反省すべき事項として挙げられます。そのため第3期活動計画では、第2期活動計画以降の社会情勢と地域福祉をめぐる状況等を踏まえて、さまざまな角度から第3期活動計画を策定しました。

参考：第2期 右京区地域福祉活動計画（平成20年度～24年度）

http://ukyokusyakyō.net/html_document/katudoukeikaku2.pdf

第3期活動計画に向けての強化ポイント

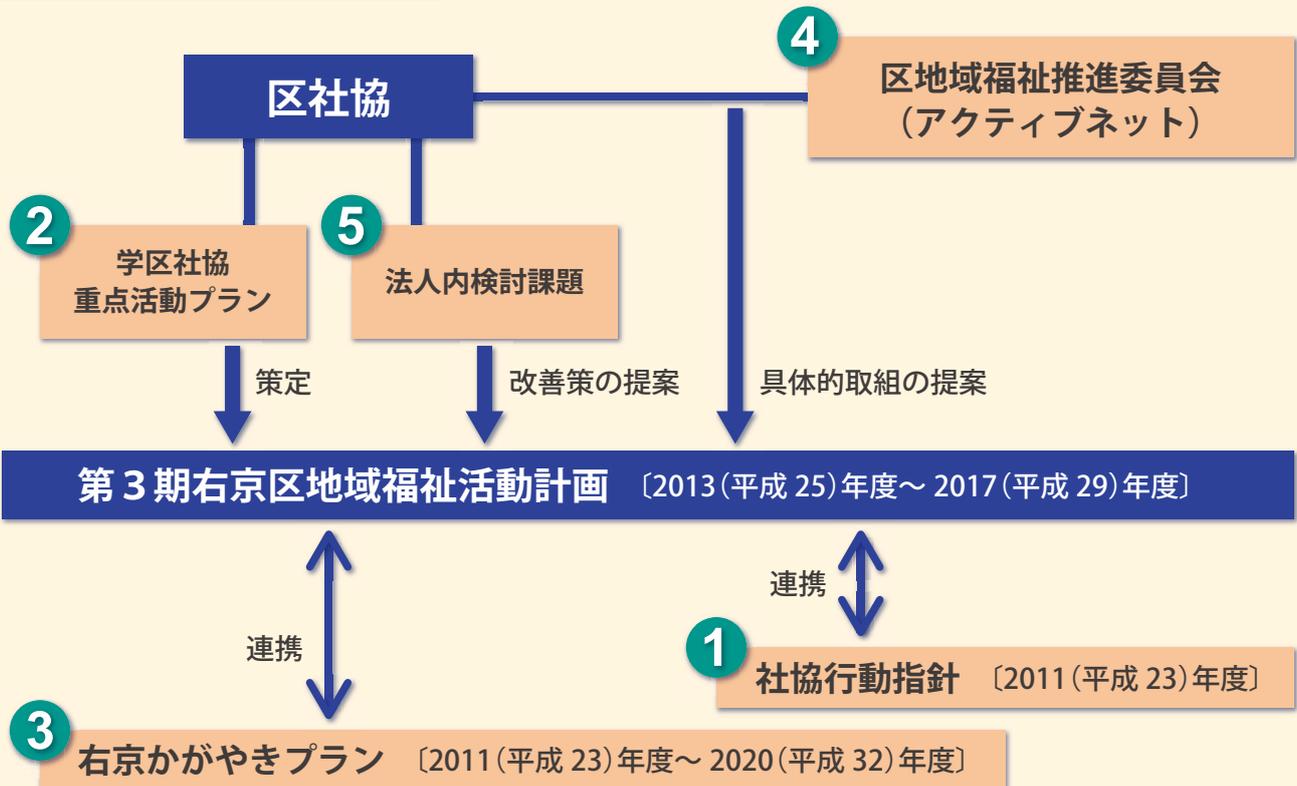
1. 社協行動指針との連携
2. 学区社協重点活動プランの推進
3. 区基本計画との連携
4. 地域福祉のネットワークとの連携
5. 法人内における経営方針の検討（※）

※3つの検討課題

1. 学区社協活動財源（賛助会費）
2. 施設運営（京都市うずまさ学園・京都市太秦障害者デイサービスセンター）
3. 事務局機能（右京区社協京北事務所）

第3期活動計画の策定のフロー図

①～⑤の数字は、上記「第3期活動計画に向けての強化ポイント」を表します。



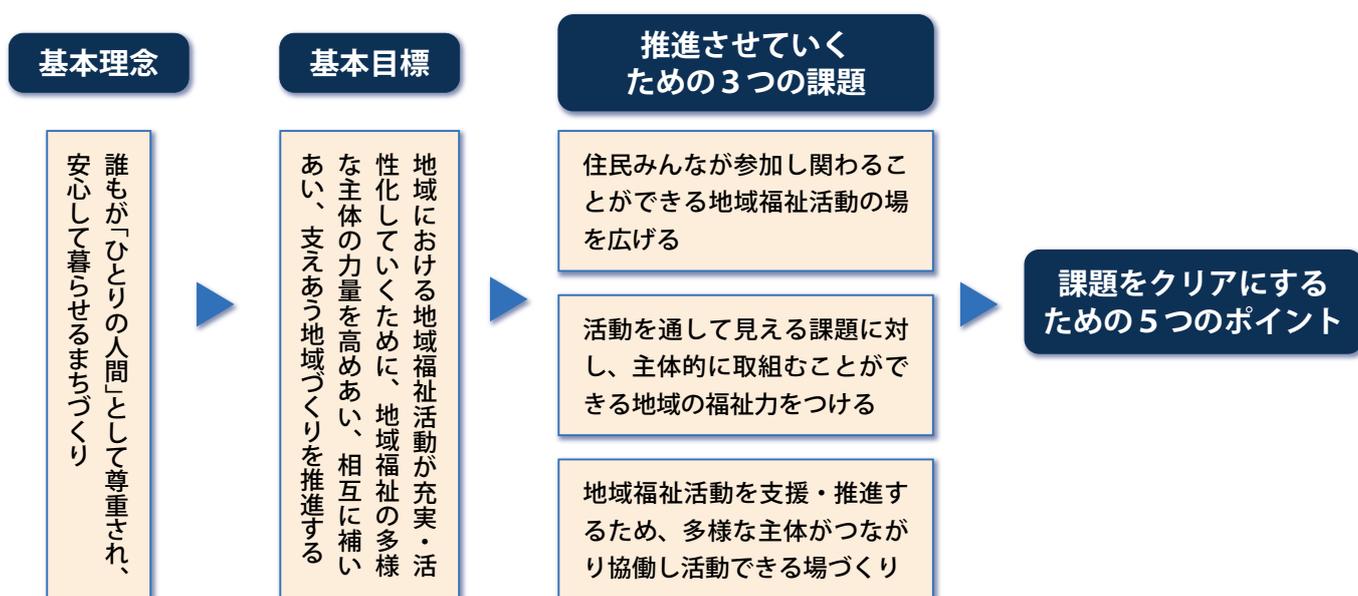
第3章

第3期活動計画

活動計画の構成と5つのポイント

活動計画の構成

第1・2期活動計画で掲げている基本理念、基本目標、推進課題を引き続き軸にしつつ、第3期活動計画では、課題をクリアにするための5つのポイント（重点課題）を新たに掲げました。



課題をクリアにするための5つのポイント（重点課題）

Point ① 学区社協支援

Point ② 学区社協重点活動プランの策定と推進

Point ③ 「地域の絆づくり事業」の推進

Point ④ アウトリーチによる寄り添い型の生活支援

Point ⑤ 区社協経営方針策

Point ① 学区社協支援

1. 地域に出向いての訪問支援（アウトリーチ^(※)）

区社協職員が積極的に地域に出向いていき、地域で抱える課題の掘り起こしと課題解決への支援を地域支援（学区社協支援等）とともに考えます。

2. 学区社協重点活動プランへの支援

地域で混在する福祉課題の解決や学区社協重点活動プランの計画的な実行に向けて、区域・学区の社協が同じ目線にたって地域福祉活動を発展させていけるよう支援します。

3. 活動拠点の確保

活動拠点がある地域と、そうでない地域とでは地域福祉活動の展開に差が生じてしまいます。そこで、拠点が無い・拠点が少ない地域については、地域内の施設や関係団体、行政機関と連携をすすめ活動拠点を整備します。

Point ② 学区社協重点活動プランの策定と推進

Point 1「学区社協支援」を具体化する方策として、学区社協重点活動プランを全学区で策定し、目標達成に向けて取組みをすすめていきます。

[>> 詳しく読む P10](#)

1. 地域の福祉課題の把握

どれだけ地域住民の困りごとを把握しているか、ハンディを抱える当事者や地域から孤立しがちな人のニーズに耳を傾けるかがとても重要です。日常生活や普段の地域活動の中で、困りごとを発見できるアンテナを常に張り巡らし、地域で混在する福祉課題をくみ取ります。

2. 中長期的な視点を持った地域福祉活動の展開

地域福祉活動を発展させるには、日頃の活動を振り返りながら『今後どのような地域にしていきたいか』と住民同士で話し合う場が必要です。住民自らが地域の課題と目標を共有できれば、より主体的に地域福祉活動に取り組むことが可能になります。

3. 地域福祉活動への参加を促す働きかけ

『私の地域では〇〇に力をいれて取組みます』と宣言できる学区社協重点活動プランを打ち出すことで、住民から見えやすい地域福祉活動と身近な地域で福祉活動への参加・協力の輪を広げます。

Point ③ 「地域の絆づくり事業」の推進

>> 活動のイメージ P12～15

少子高齢化の進行やコミュニティの弱体化、厳しい雇用情勢を背景に孤独死や虐待などの社会的孤立が拡大しています。このような情勢に的確に対応するため、市社協の政策提言を受けて、京都市では「地域における見守り活動促進事業^(※)」や「一人暮らし高齢者の全戸訪問事業」の施策が打ち出されました。これらの動きを受けて、区域・学区でも身近な地域の絆づくりを積極的に進めます。

1. 見守り活動

地域では、従来からすすめる配食サービスや寝具クリーニングサービス、健康すこやか学級など、日常のちょっとした目配りや見守りにつながるさまざまな地域福祉活動が進められています。そのような中、新たに打ち出された施策（「一人暮らし高齢者の全戸訪問事業」、「地域における見守り活動促進事業^(※)」）を活用して見守り活動の強化を図ります。

2. 居場所づくり

地域のつながりを生み出す場は、社会的孤立を防ぐ力となります。高齢者、障害者、子育て中の親御さんや幼い子どもたちを対象とした誰もが気軽に集うことができる居場所は、ふれあいと仲間づくりの場にもなります。社協は、このような居場所づくりを積極的に進めています。

3. 相談事業

身近な地域で「見守り活動」や「居場所づくり」が進められる中で、ハンディを抱える当事者や地域から孤立しがちな人から寄せられる心配ごとや困りごとの早期発見と関係機関や行政機関と協働して課題解決へとつなげる身近な相談事業に取り組めます。

※ 「地域における見守り活動促進事業」

支援が必要な一人暮らしの高齢者や障害のある方など（以下「要援護者」という）の、地域における見守り体制を充実し、災害時における要援護者の支援に資するため、「地域における見守り活動促進事業」を24年7月から開始。

※ 「アウトリーチ」

英語で「手を伸ばすこと」を意味する。社会福祉事業などにおいては、医療・福祉関係者が直接出向いて必要とされる支援に取り組むことを意味し、本活動計画では、社会的孤立を防ぐため区社協職員が地域に出向いて行き、地域とともに生活課題の掘り起こしと要支援者に寄り添い型の生活支援を進める。

※ 「セーフティネット」

「安全網」として訳され、網の目のように救援策を張ることで、安心・安全を提供するためのしくみ。本活動計画では、生活・暮らしの安心・安全を守る支援策として、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）を活用し、あらゆる生活課題にも対応していく生活支援機能の強化を図る。



Point 4 アウトリーチ^(※)による寄り添い型の生活支援

事業を活用したセーフティネット^(※)の構築

厚生労働省では生活困窮者に対して重層的なセーフティネットの構築と、生活困窮者すべての社会的経済的自立と生活向上に取り組む必要性を指摘し、社協もその支援の担い手の一つとして挙げられました。(平成 25 年 1 月 社会保障審議会特別部会報告書) また、全社協においても、生活困窮者や社会的孤立の増加を受けて「社協・生活支援活動強化方針」(平成 24 年 10 月) を策定し、社会的孤立、生活困窮者、権利擁護の問題などに対応する新しい生活支援のあり方を提起しています。京都市社会福祉協議会では「京都市における社協行動指針」(平成 23 年 8 月) を策定し、関係機関・団体や施設・行政等との連携により、貧困、孤立等の生活課題を抱えた要支援者への取組みを進めています。これらの動きに併せて、社協は、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業) など既存の事業を活用した生活支援機能の強化を図り、あらゆる生活課題にも対応していきます。

Point 5 区社協経営方針策

1. 地域福祉活動にかかる財源確保

24 年 5 月の監事会では、賛助会費等の収入額の維持が図られるよう財政運営のあり方の検討が必要との指摘をいただきました。これを受け、11 月に開催された法人内部検討会では、将来的な小地域福祉活動費の確保、また、賛助会費収入時期のズレ対策等、賛助会費年間収入額程度を目標に計画的な積立【積立金積立】、賛助会費や共同募金会への積極的啓発と活動の強化【啓発活動の強化】などの改善計画を打ち出しました。引き続き、地域福祉活動にかかる財源確保に向けて、賛助会費等、学区での募集の取組に更なる工夫と努力をすすめていきます。

2. 施設運営(京都市うずまさ学園・京都市太秦障害者デイサービスセンター)

本年 4 月に障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正されましたが、介護給付費の激変緩和加算の廃止や京都市の補助金削減等、国や自治体の財政支出抑制の方針は今後も継続すると思われます。

当施設においても、指定管理制度の導入など施設を取り巻く状況は大きく変化しています。これらの状況を踏まえ、引き続き、介護給付費による自律的な財政運営を行い、持続可能な事業運営を目指します。

3. 事務局機能の整理(右京区社協京北事務所)

京北在宅福祉事業における不足額補填財源は、現行体制を維持した場合、積立金が今後 2～3 年で枯渇となってしまいます。そのため、地域社協への事業移行と活動資金の流れを変え、京北事務所の事務簡素化、体制の見直し、福祉有償運送における利用料の改正等を早急にすすめていくことが必要です。また、長年、京北地域内における交通弱者を支え続けてきた独自事業である福祉有償運送事業においては、平成 27 年 5 月 6 日で登録満了を迎えます。そのような中、本年度には、京北ふるさと公社、京北病院、行政、右京区社協京北事務所の 4 者が集まり、京北地域内の公共交通を考える話し合いが開かれていました。この問題については今後も引き続き、福祉有償運送事業登録有効期限後の対策と交通弱者にとって負担を軽減できるしくみを考えていきます。



右京区における地域福祉活動の 推進イメージ

第3期 右京区地域福祉活動計画

右京区社協

第3期活動計画(2013(平成25)年度～2017(平成29)年度)

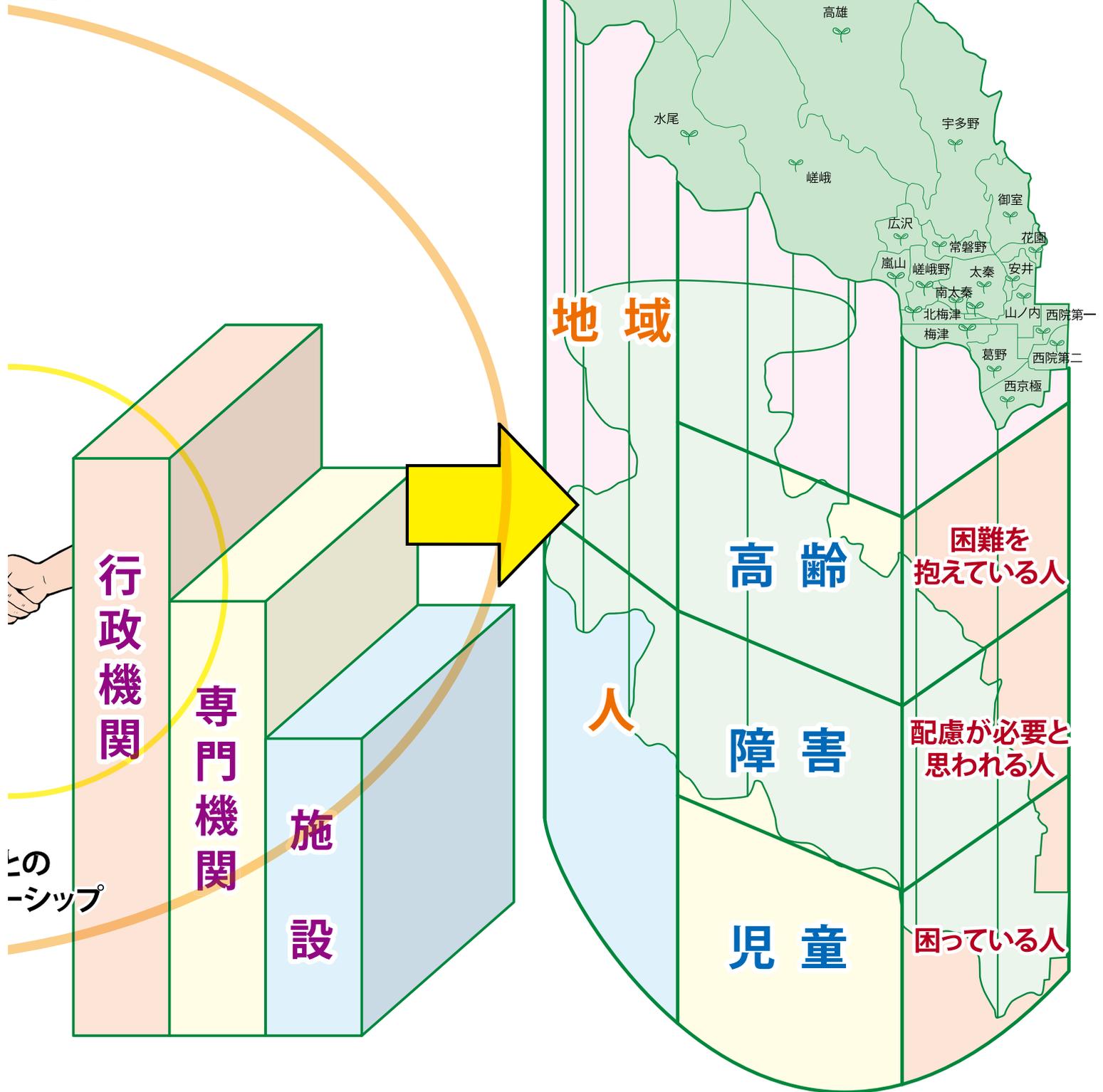
推進活動

基本理念	基本目標	推進課題	重点課題 5つポイント	推進活動
誰もが「ひとりの人間」として尊重され、安心して暮らせるまちづくり	地域における地域福祉活動が充実・活性化していくために、地域福祉の多様な主体の力量を高め、相互に補いあい支えあう地域づくりを推進する	地域における住民みんなが参加し関わる地域福祉活動の場を広げる	1 学区社協支援	1.地域に出向いての訪問支援(アウトリーチ) 2.学区社協重点活動プランへの支援 3.活動拠点の確保
		地域での地域福祉活動を通して見える課題に対し、主体的に取り組むことができる地域の福祉力をつけるための支援を行う	2 学区社協重点活動プランの策定と推進	1.地域の福祉課題の把握 2.中長期的な視点を持った活動の展開 3.活動への参加を促す働きかけ
		地域における地域福祉活動を支援・推進するため、多様な主体がつながり協働し活動できる場づくり	3 「地域の絆づくり事業」の推進	1.見守り活動 2.居場所づくり 3.相談事業
			4 アウトリーチによる寄り添い型の生活支援	事業を活用したセーフティネットの構築 1.生活福祉資金貸付事業 2.日常生活自立支援事業
			5 区社協経営方針策	1.地域福祉活動にかかる財源確保 2.施設運営(京都市うづまさ学園・京都市大森障害者ティーンズセンター) 3.事務局機能の整備(右京区社協京北事務所)

官民と
パートナー

※従来の基本理念、基本目標、推進課題を達成すべく新たに5つのポイントを提案しました。

地域福祉のネットワーク



第3期学区社協重点活動プラン (平成25～26年度)

今後2年間で必ず実施したい、学区社協ごとの重点活動プランを策定し、目標達成に向けて取り組めます。

太 秦

引き続き、見守りと防災の取り組みをより深めると共に居場所づくりに力をいれていきます。

南太秦

地域住民が明るく暮らせる福祉活動に各種団体が密になり連携・支援・活動に専念します。(高齢者世帯および障害者の)福祉台帳を整備します。

常磐野

住み慣れた場所での地域交流と閉じこもり防止のため高齢者の「居場所づくり」の設置に取り組めます。

安 井

高齢者見守りを兼ねた居場所づくり「ふれあいサロン」開設をめざし準備をすすめます。

嵯峨野

第2期のプランを継続させるとともに、学区防災マップを最新版への更新と、新たに災害時要援護者リスト・災害時安否確認マニュアルの策定を目指します。

山ノ内

福祉事業を通じたボランティアスピリッツの芽生えと福祉マンパワーの育成に努め、福祉台帳の整備とともに実態に即した高齢者福祉事業をすすめます。

西院第一

「ぬくもり委員会」の子ども達との交流を深め、小学生の福祉学習も取り入れたふれあい事業を実施します。

西院第二

支援の必要な人の把握をすすめるため町内の福祉委員による見守り活動を活発にします。

梅 津

災害に備えて要配慮者の把握に取り組めます。その実現に向けてまずは身近な地域での居場所(喫茶サロン)づくりに取り組めます。

北梅津

学区内災害ボランティアセンターの設置運営訓練と避難所運営訓練を実施し、災害ボランティアの人材育成に努めます。

嵯 峨

社協事業への男性の参加を促し、同時に新たな活動の担い手の「仲間づくり」に取り組めます。

広 沢

アンケート調査結果を参考に高齢者のニーズに対応した事業を拡充し、その担い手になる地域の方のボランティア活動への参加を促進します。

嵐山

すこやかサロン事業について、広報を工夫する等多くの方が参加できるように努めます。

水尾

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごせる見守り活動を展開します。

宕陰

地域が一体となった取組（ハロウィーン祭など）をすすめ、地域全体でまちづくりをすすめる気運を高めていきます。

花園

高齢者の実態を把握し、安心できるまちづくりに自治会・民協と連携を密にして取組みをすすめます。

御室

日々の生活の中で地域をきめ細やかに見つめ、一にも二にも元気を取り戻すことに向かって社協役員・福祉委員も勉強しながら住民の悩みに寄り添い頑張っていきます。

宇多野

人に優しく災害にも強い信頼で結ばれた福祉のまちづくりをすすめます。

高雄

社協活動を応援してくれる人、支えてくれる人を増やし、様々な活動を通じた高齢者の見守り活動をすすめていきます。

西京極

「西京極福祉災害ボランティア」メンバーの意識の向上、知識の向上を図ります。

1. 各種災害ボランティア研修への積極的な参加をおこなう。
2. 実施訓練を通じて、地域3ブロックの組織的な活動強化を図る。
3. ボランティア登録者の募集。

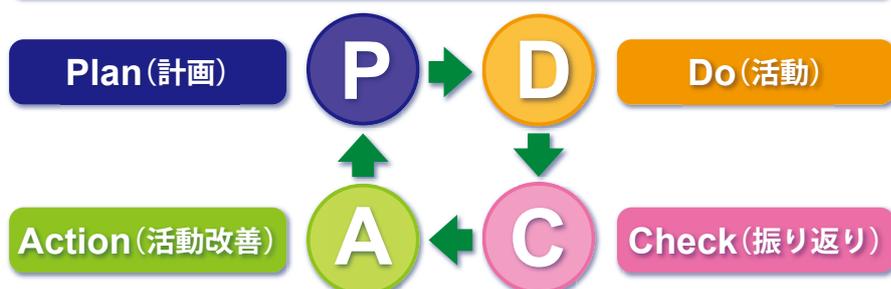
葛野

誰もが気軽に参加しやすい場の創設（喫茶サロン事業）と、ひとり一人の手元まで届けるきめ細やかな声かけで地域での孤立を防ぎます。

京北

更なる基盤整備を図り、円滑な事業運営と事業拡大の検討をおこないます。

目標達成に向けて計画的に地域福祉活動をすすめます〈PDCA サイクル〉



※学区社協重点活動プランは2年毎に更新していきます。

第4章

活動実践コラム

新しい福祉課題の解決に向けて 活動が広がっています

第3期 右京区地域福祉活動計画

高まる地域の見守り意識 『地域ぐるみ』それが社協の見守り活動

自分たちの暮らす地域の中で潜在化する福祉課題への気づきを促しながら、孤立しがちな人を地域で見守り、支えていこうとする取組を紹介します。

区内では要配慮者を支援するため、様々な見守り活動が進められています。自治連合会と社協とが連携して単身高齢者マップを作成する安井学区や、西院第二学区や嵯峨野学区など、担当の民生委員が誰なのかがわかるように担当者の名前を地図に落とし込んだ福祉マップを作成するなど、住民への啓発と日常のさりげない見守り活動の取組みが広がっており、「何かあったらここにいけばいい」「マップを頼りに相談に来ました」「(自分の身に)何かあったときに相談できる人が近くにいる」ということがわかって安心です」という声も寄せられています。西京極学区の地域ケア会議では、社協や民生委員も参加する中、学区内を一目で把握できる大きな福祉マップを広げ、高齢者が多い地域を色付けしながら、一人暮らしの高齢者を見守るしくみについて話し合われています。

福祉マップ、福祉台帳などを使って、要配慮者を支援します

見守り活動

社協の強みを活かす
地域ネットワークの強化

さらに、こうした取組を通して福祉台帳の整備や、また、葛野学区のように、配食活動を中心に、「食」を通じて日常の見守り活動をより強化していくこととする地域も出てきています。

急速に進む高齢社会の今日、住民自らが問題意識を高め、社協の強みであるネットワークを活かした気づきから見守り活動へと広がっていくことは、薄れつつある住民同士のつながりの再構築と、地域でお互いが支え合う福祉のまちづくりにつながっていくものといえます。

市民しんぶん右京区版クローズアップ社協(24年8月15日掲載)

高齢者に重い負担としてのしかかる雪かき。今年も雪かきボランティアを募集

「屋根から落ちた雪が溜まって窓から光が入りません。昼間でも室内はうす暗い状態です」「外出したくても玄関から公道までのわずかな距離ですが、積雪と道の凍結で転倒しないか不安です」と、積雪の多い山間部で暮らされる高齢者からは寒さが厳しくなるこの季節、日常生活に関する不安の声が聞か



安否確認も兼ねる寝具クリーニングサービス事業



「食」を通じての訪問と見守り活動。配食サービス事業

れます。特に雪が多くなる冬の季節は外出の機会も減少、近隣の人とのふれあいの場も少なくなり、孤立を防ぐ見守り活動をすすめる社協では、住民から寄せられる相談ごとに向き合った活動として、「京北地域雪かきボランティア活動」を企画し、雪かきを通じて、孤立解消と冬季における生活不安の緩和を図ります。

市民しんぶん右京区版クローズアップ社協(25年1月15日掲載)

気付きから支えあいへ 支援の目から漏れる人をなくしたい

「右京区福祉のまちづくり学校」(24年9月7日)では、社協、関係機関、行政関係者あわせて約190人の方にご参加いただきました。

「高まる見守り意識」をテーマに、先駆的に取組みすめられている身近な地域での「見守り活動」の実践が報告されました。

局地的災害を経験して 見えた活動の必要性

24年7月に発生した局地的豪雨の被害を受けた宇多野学区では、「集中豪雨の影響で、配慮が必要な方が避難所に行くことが困難であることがわかりました。地域性を考えると、より小さな範囲(地域)で配慮が必要な方を優先に考えた取組を考えていかななくてはならないと思いました」

(体験報告者 宇多野社協 中村健治氏)

各種団体と意識的に つながる大切さ

「今回の災害では、改めて日頃から地域の各種団体と意識的につながっておくことの大切さを痛感しました。万が一、災害や緊急時に備えて、迅速に対応できる力をつけておくことは、地域で暮らす人たちの安心感につながっていくのだと思います」

(体験報告者 宇多野地域住民・右京消防団宇多野分団所属 森奥友一氏)

継続的な働きかけで 見守りの目を細やかにする

嵯峨社協の研修(ボランティアアスクール)では、災害や緊急時には、地域で共に暮らされる障害のある方や配慮が必要な方への見守りが必要であることから、2年続けて「災害」をテーマにした研修をおこなっていました。

みんなで話し合うことを習慣づけていきたいとの企画者(社協)の想いであり、研修や訓練は、繰り返し続けていくことが大事だと思っています。継続していく中で、前回は来られなかった人が参加されたりと人のつながりが生まれます。

(実践報告者 嵯峨社協 中口美恵子氏)

配慮が必要な人を 見逃さない福祉台帳整備

一人で暮らされる高齢者の身に何かあった時は、みんなで支え合うため、社協・民生・自治連が中心となって、配慮が必要な人を把握する福祉台帳の整備に平成6年より取り組んでいます。ここに記載される情報は、毎年更新されます。今日に至るまでに、いろんな

住民の意識向上にむけて 積極的な啓発が大事

「いかに住民の人たちに知ってもらうかと、広報啓発を重点に考えて企画しています。緊急時には、どこに避難したらいいのか、その時、地域はどのような状態になるのか?など、まずは地域の状態と自分や家族の身をいかに守るかについて(各家庭に配布する福祉マップが)考えていただくきっかけになれば嬉しいです」社協活動は、どんな地域にしたいかと目標を立てて、行動していますが、それだけでは不安になることも多いです。でも、目に見える成果(福祉マップや参加者・担い手の声や笑顔)が、自信を与えてくれます。

(実践報告者 西京極社協 浅野潤一氏)

ご意見をいただきました。しかし、その都度、「なぜ必要なのか」という活動の趣旨を説明させていただき、お互いが納得するまで話し合ってきました。そのおかげで、いまでは(福祉台帳の活動)快く引き受けていただけるようになり地域一体となって取組をすすめられるようになりました。

(実践報告者 南太秦社協 菊池初江氏)

実践報告を受けての コーディネーターのまとめ

「実践報告では、これまでの活動に新たな担い手が加わることにより見守りの網の目が細かくなった南太秦社協や、新たな視点を加えたことにより事業が発展した嵯峨社協など身近な地域で継続した働きかけが、安心して暮らせる地域づくりに本当に大事だということが伝わってきました。また、豪雨水害を体験された宇多野社協の気づきや、住民の意識向上に向けた西京極社協の啓発活動など、一つ一つの取組みや働きかけが『地域』に山積する様々な課題にしっかりと向き合いながら、そこで暮らされる人、特に配慮が必要だと思われる人をさりげなく見守っておられることがよく伝わってきました。各地域での日頃からの一つ一つの取組みは、見守り活動にもつながっています」

(コーディネーター 京都光華女子大学・キャリア形成学部 准教授 石井祐理子氏)

これまで地域とのつながりが少なかった人こそ
来てほしいと笑顔で迎えます。

区内で広がりみせる 喫茶型サロン

休日の朝に気軽に立ち寄れる「喫茶型サロン」が増えています。自治連合会が中心となり、学区内の各種団体や社協と地域の方々が運営にあたる南太秦学区「ふれあいサンデーモーニング」をきっかけに、西京極や太秦御室、宇多野でも実施されています。地域によってスタイルは異なりますがどの地域もサロンに來られる人すべてが、自然に笑顔になれる、住民主体の自発的な取組です。

24年6月から新たにオープンする西院第二学区や山ノ内社協の「スマイルモーニング」も着々と準備が進められています。近年、孤立を防ぐ取組や絆づくりにも多くの人の関心が集まる中、身近な地域で気軽にしゃべれる場サロンに集まった人と人がつながる拠点になることを期待します。市民しんぶん右京区版クローズアップ社協（24年6月15日掲載）

地域の社会資源が活きる

「今の会場に行くには」家から少し遠くて行きにくい。もう一つ増やして欲しい」というサロンに來られる高齢者の声を受け



喫茶型サロンでは焼きたてのトーストの香りが部屋に広がります

居場所づくり

て、西京極学区では、24年6月から地域の高齢者施設「花友にしこうじ」で2か所目の喫茶型サロンを始めました。

山ノ内学区では、乳幼児を抱える親御さんたちのおしゃべり場「かるがもカフェ」を、地域密着型サービスセンター「welcomeやまの家（つち）」で開設。広沢学区でも社協と民生委員が協働し、小規模多機能施設「嵐山寮ひろさわ」で喫茶サロン「そわか」を運営するなど、福祉施設との連携・協働による居場所づくりのすそ野が広がっています。

豊かなコミュニケーションを 集合住宅の取組

「マンションで暮らす住民同士が顔の見える場をつくりたい」、「集合住宅で暮らす高齢者の孤立を防ぎたい」と、「西京極大門ハイツ」でも住民による「サンデーモーニング」を契機に子ども活動やエコ活動など幅広く豊かなコミュニケーションが育まれています。また、葛野学区の「ハイラーク西京極」でも、同様の活動が進み、マンション近隣の単身高齢者にも参加を呼び掛けている。居場所を立ち上げた関係者は「外出を控え室内で過ごすお年寄りも多い。玄関から出てきてみんなで楽しい時間を過ごしてほしい」と話されます。

にぎわいのある商店街を取り戻したい。弾ける子ども の笑顔・居場所づくり

にぎわいのある商店街の姿を取り戻そうと、子どもの居場所づくりをすすめる「NPO法人子育ては親育て・みのりのもり劇場」と、かつては多くの時代劇映画の撮影所があったことで知られる大映通り商店街とが協力して、商店街と地域の活性化に向けた住民参加型のイベントについて、区内の大学生も参加する企画会議では、「地域の人に気軽に立ち寄ってもらうにはどうしたらいいか」と、様々な企画が練られています。6月の会議には区社協も参加。これまで積み重ねられてきた議論に地域の視点を加え、商店街を離れつつある人たちが楽しく、ゆっくりと過ごせる空間づくりの提案など、そこに住む人の思いと商店街の思いをつなぎ、懐かしさの中にもにぎわいのあるまちづくりが進んでいくことを期待しています。市民しんぶん右京区版クローズアップ社協（24年7月15日掲載）

「いろいろなしゃいませ」 明るい声が響く福祉屋台

区内にある17の障害者施設が参加する右京障害者ネットワーク



男性の参加率が高いのも喫茶型サロンの特徴です

では、障害への理解を深め、気軽にふれあえる場を創ろうと、平成20年10月よりサンサ右京で「福祉屋台」を開催してきました。回を重ねるにつれ区民の方々への認知度は少しずつ高まり、最近では「次はいつ？」と気軽に声をかけてくださる人が増えてきたことはとても嬉しいことです。障害者自らが接客を行う姿は、自主製品の販売を通じて障害への理解を深める貴重な啓発と交流の場になっています。同ネットワークの関係者は「施設から地域へ飛び出し、多くの人とふれあうことはとても大切です」と話します。福祉屋台など販売活動を通じて交わされる区民の皆様との会話が、障害のある人の働く意欲と日々の活動への自信につながっています。市民しんぶん右京区版クローズアップ社協（24年12月15日掲載）

右京区地域福祉推進委員会（アクティブネット）では、コミュニティの弱体化、高齢者の犯罪増加、孤立死、虐待などの社会的孤立を防ぐ取組として、地域の各種団体やボランティア・NPO と地域内の施設とが力を併せて、身近な地域で住民同士のつながりをつくる新たな居場所「喫茶型サロン」に注目し、「居場所づくり」をテーマにシンポジウム・ワークショップを25年2月8日に開催しました。

社協・施設・専門職、行政関係者あわせて約120人の方にご参加いただいたワークショップでは、地域と地域の資源の力を引き出しながら、住民にとって居心地のよい身近な居場所を定着させるために何が必要かを確認しました。ここでは、コーディネーター 志藤修史氏（大谷大学准教授）のまとめより出されたキーワードを紹介します。

『なんだか、ほっとできる』・『心が温まる』と思える “場所づくり”と“空間づくり”が大事です

やっぱり自分の「居場所」が大事です。そこに居るときに、会話されなくても別にいいのです。「なんだか、ほっとできる」、「心が温まる」など、そのような“場所づくり”・“空間づくり”が大事です。「(参加する人に) ちょっと笑顔を見せてもらった」や、表情を緩めて和やかに帰っていただく、あるいは「また来るからな」という風に言っていただくようなソフト面を整えていくことが大事だと思います。

いま、頑張してほしいのは「ソフト面」です

要するに、「どんな人来てもらいたいのか?」ということですね。先進学区の報告にもありましたが、「来やすい」、「この人と繋がっておきたい」そういう人たちにきちんと入口として繋がれる何か仕掛けがあるのか、で、繋がった時に「じゃ、おいでよ」と言えるような工夫がされているのか。この部分については、これから地域でも考えていただきたいポイントです。

居場所づくりに必要な「ハード面」

ハード面には「空間」としてのハードと「アクセス」としてのハードの両方が必要だと思います。そのうちの一つの「集まれる場所」それと「集まれるための条件」いわゆるアクセスの問題については、それぞれの地域の実情に応じてきちんと条件を整備していく必要があると思います。

今日ここに集っておられる皆さん方は、「福祉でみんなの心をつなげてすすめるよう」とされていますね。ということは、『誰もが来れるか』、『来てほしい人がちゃんと来ているか』、『つながりたい人が、ちゃんとつながれるような条件があるのか』ここが大きなポイントだと思います。

「これない人をどう見つけて、その人とどうつながっていくのか」 地域福祉を考える上で外してはいけないポイントです

あくまで焦点は、「来れない人をどう見つけて、その人とどうつながっていくのか」というところ。ここが地域福祉にとって非常に大事な点です。

「みんなで声をかけあって、住みやすい地域づくりをすすめてみましょう」

右京区と一言にいても、昔ながらの住宅地であったり、集合住宅地が建ったり、山間地域があったりと、とても広い地域性を持っています。そのような中で今日のワークショップでは、身近な地域で居場所をどうつくるかについて、地域住民の他に専門職の方とか施設の方、行政の方など一緒になって話し合ってきました。このように一緒に何かの作業を共にすることはとても大事なことです。それぞれ地域の伝統と特色、それと色々な方々がもっておられるネットワークを活用して居場所を発展させていただきたいと思います。

第5章

関連資料

右京区ってどんなまち？ —学区別にみる世帯数・人口の動き—

第3期 右京区地域福祉活動計画

学区	世帯数 (世帯)			人口 (人)			面積(km ²)	世帯数増減率 (%) 2000~2010年 B/A	人口の増減率 (%) 2000~2010年 D/C
	H12(2000) A	H17(2005)	H22(2010) B	H12(2000) C	H17(2005)	H22(2010) D			
太秦	7,116	7,474	8,202	18,317	18,296	19,082	1.562	1.15	1.04
南太秦	2,637	2,488	2,335	6,892	6,304	5,613	0.369	0.89	0.81
常磐野	6,028	6,259	6,107	15,915	16,086	14,947	1.14	1.01	0.94
安井	3,084	3,173	3,137	7,697	7,427	7,043	0.583	1.02	0.92
嵯峨野	5,509	5,856	6,117	14,313	14,555	14,099	1.024	1.11	0.99
山ノ内	4,666	5,000	4,962	9,768	9,945	9,740	0.902	1.06	1.00
西院第一	3,920	3,930	4,695	7,816	7,530	8,356	0.441	1.20	1.07
西院第二	5,695	6,592	7,399	10,812	12,110	13,425	0.948	1.30	1.24
梅津	4,215	4,445	4,756	10,147	10,339	10,752	1.187	1.13	1.06
北梅津	3,639	3,756	3,859	9,182	9,041	8,877	0.623	1.06	0.97
嵯峨	4,877	4,845	4,920	12,982	12,349	12,063	15.427	1.01	0.93
広沢	2,936	3,055	3,141	8,135	7,975	7,810	0.747	1.07	0.96
嵐山	3,357	3,582	3,812	8,656	8,778	8,804	0.798	1.14	1.02
水尾	34	34	27	156	141	56	7.543	0.79	0.36
宕陰	61	59	58	171	172	218	8.224	0.95	1.27
花園	2,665	2,678	2,739	6,505	6,173	5,880	0.478	1.03	0.90
御室	3,936	4,050	4,113	9,257	9,204	9,024	2.087	1.04	0.97
宇多野	3,373	3,556	3,725	9,131	9,140	9,520	7.922	1.10	1.04
高雄	830	868	864	2,465	2,438	2,337	19.664	1.04	0.95
西京極	5,230	5,558	6,198	12,445	12,528	13,587	0.894	1.19	1.09
西京極西	1,782	1,951	2,009	4,459	4,746	4,888	0.578	1.13	1.10
葛野	4,795	5,302	5,581	10,352	10,822	11,189	1.129	1.16	1.08
京北	2,146	2,111	2,052	6,686	6,257	5,633	217.68	0.96	0.84
黒田	145	140	132	430	381	329	37,870	0.91	0.77
山国	518	511	486	1,600	1,496	1,292	50,321	0.94	0.81
弓削	632	619	594	2,025	1,889	1,716	54,533	0.94	0.85
周山	515	510	519	1,567	1,507	1,385	21,012	1.01	0.88
宇津	180	179	176	543	503	460	18,996	0.98	0.85
細野	156	152	145	521	481	451	34,948	0.93	0.87
右京区	82,531	86,622	90,808	202,259	202,356	202,943	291.95	1.10	1.00

15歳未満の構成比 (%)		
H12(2000)	H17(2005)	H22(2010)
14.0	13.4	13.2
18.2	16.3	14.5
12.9	12.6	12.8
12.4	11.8	10.8
14.0	13.8	12.5
11.7	10.7	11.3
9.4	9.3	8.1
11.4	10.8	12.2
14.3	13.3	13.3
12.6	12.8	12.0
12.2	11.5	10.9
14.0	13.5	12.3
14.4	12.9	12.4
4.5	—	—
9.9	11.0	6.4
12.2	11.5	10.4
10.3	9.8	10.3
11.4	11.0	12.2
11.6	11.5	12.3
14.1	14.2	13.1
13.6	14.7	13.9
14.4	12.3	11.5
14.4	12.1	10.4
14.2	13.7	8.8
14.5	11.6	9.3
12.8	11.1	10.2
16.8	13.6	12.8
12.4	10.6	8.7
16.4	13.7	10.2
13.0	12.4	12.01

65歳以上の構成比 (%)		
H12(2000)	H17(2005)	H22(2010)
15.4	18.3	21.5
9.1	13.7	19.3
21.0	20.4	24.0
18.6	22.2	25.2
15.2	18.1	23.0
14.4	17.6	20.2
17.9	19.9	20.8
11.9	13.4	13.7
13.6	17.9	20.6
14.0	19.8	25.5
21.6	26.1	29.1
14.9	20.5	26.7
15.8	19.8	22.8
63.5	69.5	50.0
40.4	37.2	56.9
18.3	22.1	24.6
20.6	23.1	26.1
20.4	23.7	27.6
19.1	22.1	25.8
13.1	16.2	17.7
13.7	15.2	20.0
12.3	14.0	26.6
30.5	34.0	36.9
34.0	37.0	39.2
31.2	35.4	39.1
32.1	36.1	37.8
25.1	28.1	32.2
36.0	38.2	41.1
29.4	33.3	36.1
16.2	19.6	22.63

75歳以上	
人数	構成比 (%)
1,772	9.3%
434	7.7%
1,903	12.7%
793	11.3%
1,454	10.3%
833	8.6%
892	10.7%
784	5.8%
997	9.3%
775	8.7%
1,768	14.7%
799	10.2%
884	10.0%
19	33.9%
83	38.1%
694	11.8%
1,138	12.6%
1,240	13.0%
314	13.4%
1,044	7.7%
418	8.6%
772	6.9%
1214	21.6%
83	25.2%
287	22.2%
387	22.6%
244	17.6%
117	25.4%
96	21.3%
21,024	10.4%

85歳以上	
人数	構成比 (%)
417	2.2%
97	1.7%
712	4.8%
187	2.7%
341	2.4%
201	2.1%
244	2.9%
166	1.2%
270	2.5%
150	1.7%
471	3.9%
164	2.1%
182	2.1%
3	5.4%
23	10.6%
161	2.7%
289	3.2%
368	3.9%
107	4.6%
229	1.7%
88	1.8%
153	1.4%
374	6.6%
20	6.1%
73	5.7%
153	8.9%
67	4.8%
34	7.4%
27	6.0%
5,397	2.7%

1世帯あたりの人口 (人)	
2000年 C/A	2010年 D/B
2.57	2.33
2.61	2.40
2.64	2.45
2.50	2.25
2.60	2.30
2.09	1.96
1.99	1.78
1.90	1.81
2.41	2.26
2.52	2.30
2.66	2.45
2.77	2.49
2.58	2.31
4.59	2.07
2.80	3.76
2.44	2.15
2.35	2.19
2.71	2.56
2.97	2.70
2.38	2.19
2.50	2.43
2.16	2.00
3.12	2.75
2.97	2.49
3.09	2.66
3.20	2.89
3.04	2.67
3.02	2.61
3.34	3.11
2.45	2.23

(平成12年、17年、22年国勢調査より作成)

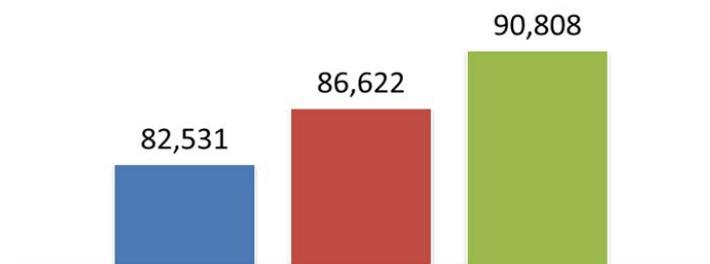
包括圏域ごとに見る右京区

圏域	学区社協	世帯数(単位：世帯)			人口(単位：人)								
		H12(2000)	H17(2005)	H22(2010)	H12(2000)	H17(2005)	H22(2010)	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	85歳以上	
a	太秦	15,781	16,221	16,644	41,124	40,686	39,642	5,240	25,135	8,779	4,109	1,226	
	南太秦							13.2%	63.4%	22.1%	10.4%	3.1%	
	常磐野												
b	安井	17,365	18,695	20,193	36,093	37,012	38,564	4175	25499	7319	3302	798	
	山ノ内							10.8%	66.1%	19.0%	8.6%	2.1%	
	西院第一												
	西院第二												
c	嵯峨野	8,866	9,438	9,929	22,969	23,333	22,903	2,855	14,214	5,256	2,338	523	
	嵐山							12.5%	62.1%	22.9%	10.2%	2.3%	
d	梅津	7,854	8,201	8,615	19,329	19,380	19,629	2,502	12,548	4,474	1,772	420	
	北梅津							12.7%	63.9%	22.8%	9.0%	2.1%	
e	嵯峨	7,908	7,993	8,146	21,444	20,637	20,147	2,281	11,864	5,747	2,669	661	
	広沢							11.3%	58.9%	28.5%	13.2%	3.3%	
	水尾												
	宕陰												
f	花園	10,804	11,152	11,441	27,358	26,955	26,761	2,992	16,299	7,029	3,386	925	
	御室							11.2%	60.9%	26.3%	12.7%	3.5%	
	宇多野												
	高雄												
g	西京極	11,807	12,811	13,788	27,256	28,096	29,664	2,513	13,666	3,544	1,503	470	
	葛野							8.5%	46.1%	11.9%	5.1%	1.6%	
h	京北	2,146	2,111	2,052	6,686	6,257	5,633	10.4%	52.7%	36.9%	21.6%	6.6%	

(平成12年、17年、22年国勢調査より作成)

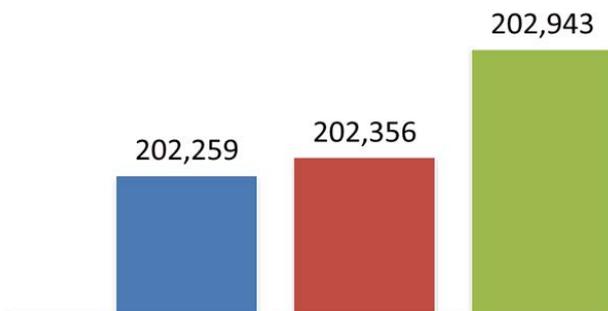
世帯数の推移（右京区）〈単位：世帯〉

■ H12(2000) ■ H17(2005) ■ H22(2010)



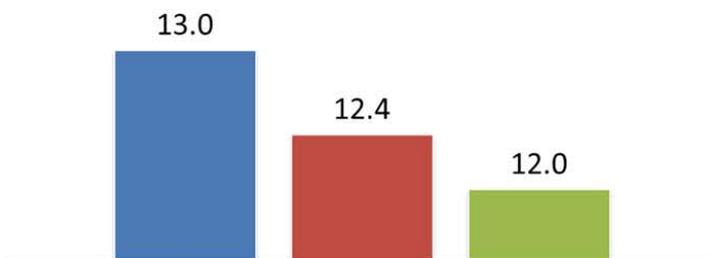
人口の推移（右京区）〈単位：人〉

■ H12(2000) ■ H17(2005) ■ H22(2010)



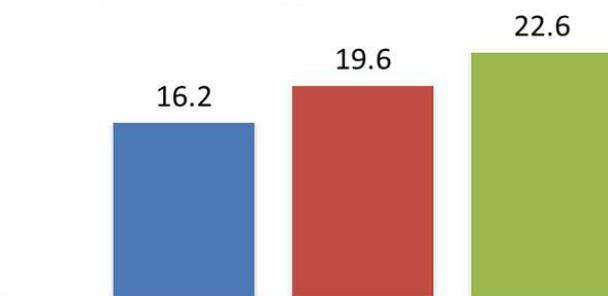
15歳未満の構成比（右京区）〈単位：%〉

■ H12(2000) ■ H17(2005) ■ H22(2010)

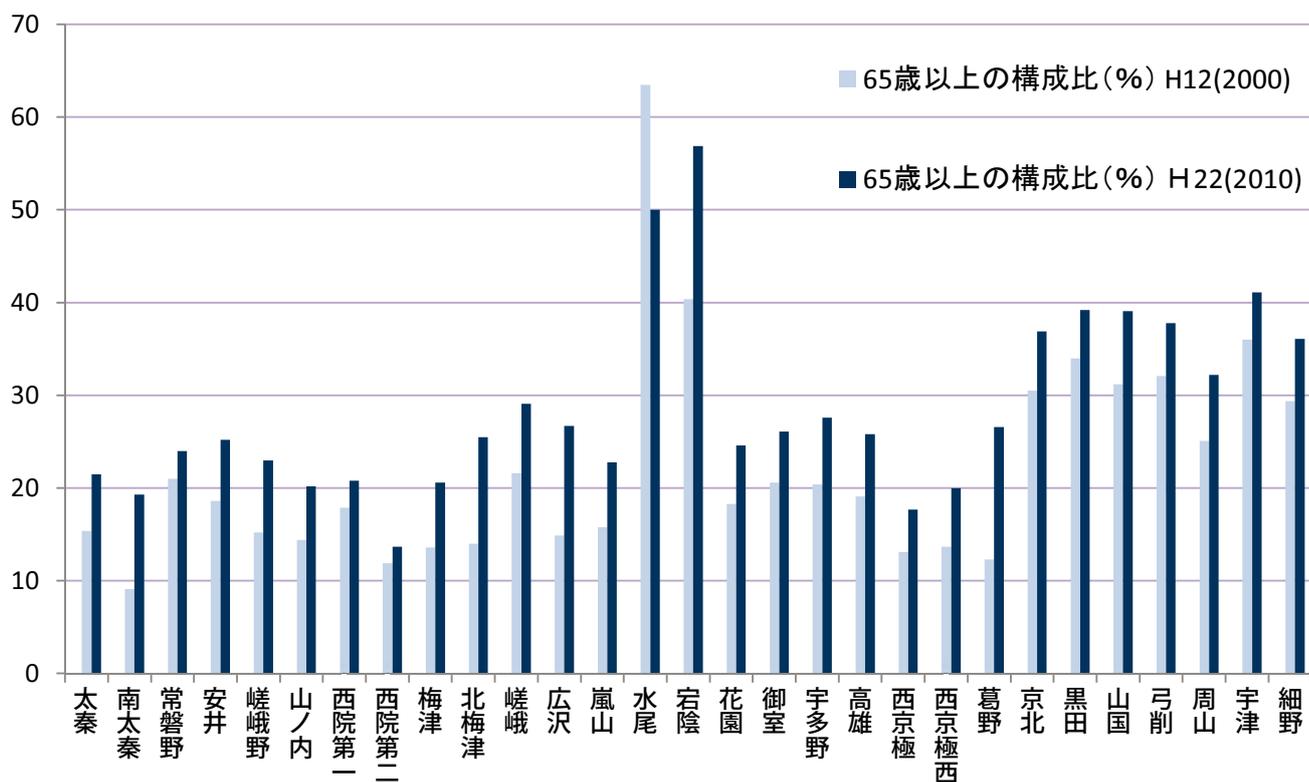


65歳以上の構成比（右京区）〈単位：%〉

■ H12(2000) ■ H17(2005) ■ H22(2010)



65歳以上の構成比（右京区）〈単位：%〉



本活動計画の策定に関わっていただいた方々

法人内部検討会委員一覧

敬称略

役職	所属	氏名
会長	葛野	原 健
副会長	区民協	林 護
副会長	区共募	小笹泰男
副会長	福祉施設	寺本演夫
副会長	京北	石井敏雄
理事	太秦	高屋宏章
理事	南太秦	菊池初江
理事	安井	北野 正
理事	嵯峨	松山 修
理事	御室	廣田耕造
理事	西京極	野宇博治

※所属欄に記載する区民協・区共募・福祉施設以外の所属は学区社協となります。

※役職・所属はH25.3現在

学区社協重点活動プラン〈学区社協会長一覧〉

敬称略

学区社協名	会長名
太秦	高屋宏章
南太秦	菊池初江
常磐野	原田節子
安井	北野 正
嵯峨野	梶谷 勲
山ノ内	田中 明
西院第一	長 忠生
西院第二	小笹泰男
梅津	谷田兼男
北梅津	林 護
嵯峨	松山 修
広沢	今堀三郎
嵐山	森 一応
水尾	上田裕也
宕陰	岡本治雄
花園	辻井義幸
御室	廣田耕造
宇多野	中村健治
高雄	政 勝男
西京極	野宇博治
葛野	原 健
京北	石井敏雄

※役職・所属はH25.3現在

右京区地域福祉推進委員会（アクティブネット）委員一覧

敬称略

氏名	所属
酒田 智	京都市京北地域包括支援センター
小島裕史	京都市右京区地域介護予防推進センター
川添チエミ	嵯峨野病院居宅介護支援事業所
久門 誠	重度障害者通所介護じゅらく
那須徹朗	タイム・ワークサポート
谷村敏幸	京都市うずまさ学園
羽根田晴美	みやこ西院作業所
木村信哉	太秦保育園
永峰 博	西京極児童館
井上公子	フォーラムひこばえ
川瀬恵子	京都福祉レクリエーション研究会
今井利華	きょうとWAKUWAKU座
木村耕司	京都市西部障害者地域生活支援センターうきょう
高屋宏章	太秦社会福祉協議会
細野嘉子	西院第一社会福祉協議会
田中靖子	西京極社会福祉協議会
柳本久雄	右京区民生児童委員会
上田順子	右京区民生児童委員会
中野容子	山ノ内民生児童委員協議会
田中由美	嵐山民生児童委員協議会
山本幸江	広沢民生児童委員協議会
田中恵美子	嵐山民生児童委員協議会
竹迫敏行	右京医師会
堤 洋之	京都府歯科医師会右京支部
山下秀幸	右京消防署（救急係長）
中道宣人	右京警察署（生活安全課長）
西谷俊廣	右京保健センター
丸山洋子	右京子ども支援センター

※氏名・所属は H25.2 現在

学識

敬称略

氏名	所属
志藤 修史	大谷大学文学部 准教授



第3期右京区地域福祉活動計画

発行日 平成25年3月

発行者 社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会